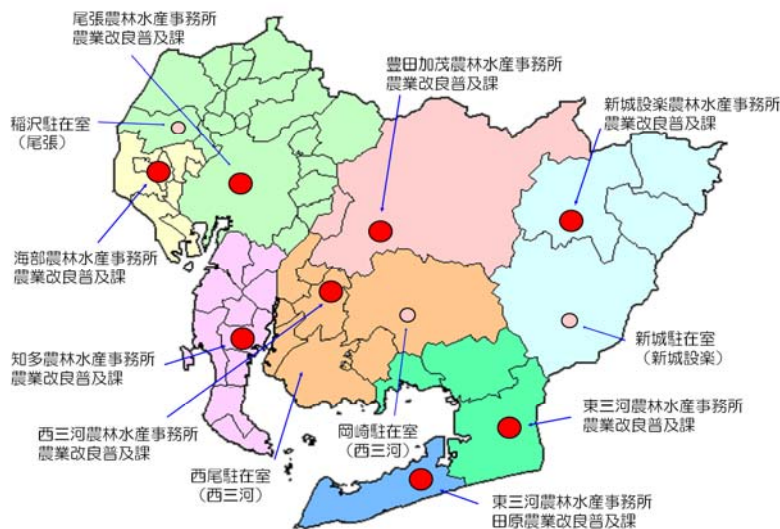


平成27年度協同農業普及事業外部第三者評価資料 (愛知県における普及指導活動の概要)

1 活動体制

- 県内に8農業改良普及課(4駐在室)を設置し、198人の普及指導員等を配置。他に県内全域を担当する普及指導員(農業革新支援専門員)を農業総合試験場に12人配置。
- 県行財政改革等により17年前(平成10年)に比べ、85人減少。

○農業改良普及課の所在地



○農業改良普及課の体制

農業改良普及課長

担い手育成グループ

就農相談、青年農業者、女性農業者の育成、農業金融等

技術指導グループ

技術及び農業経営の改善、生産組織の育成

○普及組織数及び普及職員数の推移

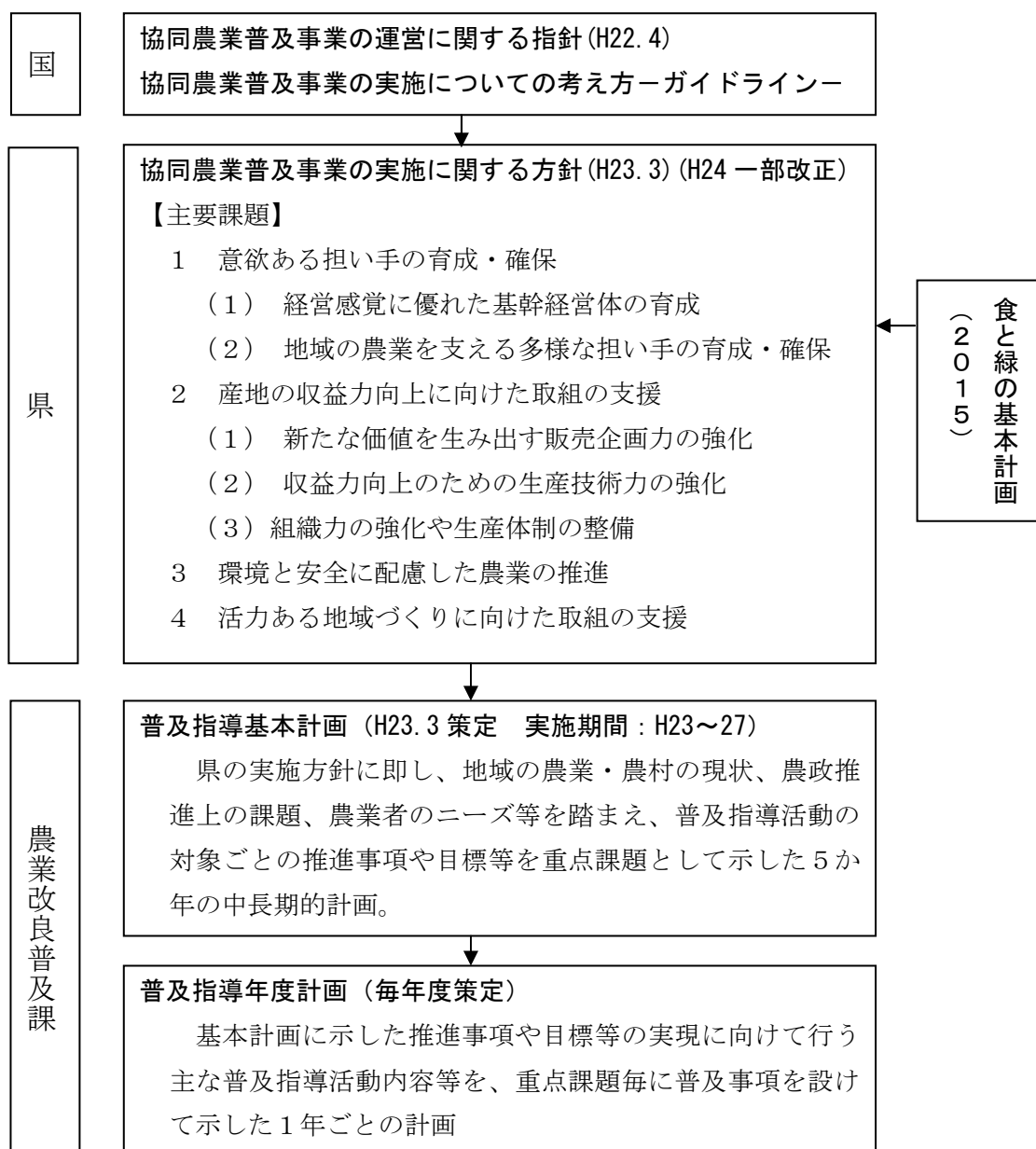
年度	H10	H15	H20	H24	H25	H26	H27
普及課数(か所)	11	11	8	8	8	8	8
職員数(人)	295	269	224	212	211	209	210
比率(H10=100)	100	91	76	72	72	71	71

○普及職員の減少に対する対応

普及組織の統廃合及び普及指導活動の重点化、高度化、効率化を進め、限られた人員の中で技術、経営の支援や担い手の育成を図る。

2 普及指導活動の計画的な実施

- 国が策定する「協同農業普及事業の運営に関する指針」「ガイドライン」に基づき、県が、「食と緑の基本計画」の趣旨等を踏まえ、「協同農業普及事業の実施に関する方針」を策定
- 県の「協同農業普及事業の実施に関する方針」に基づき、各農業改良普及課が「普及指導基本計画」を策定
- 各農業改良普及課は、「普及指導基本計画」に基づき、年度ごとに「普及指導年度計画」を策定して普及指導活動を実施



※ 国の運営指針が新たに制定(H27.5)されたため、本年度中に県の次期実施方針及び各農業改良普及課の次期基本計画を策定する。

3 普及指導活動の評価

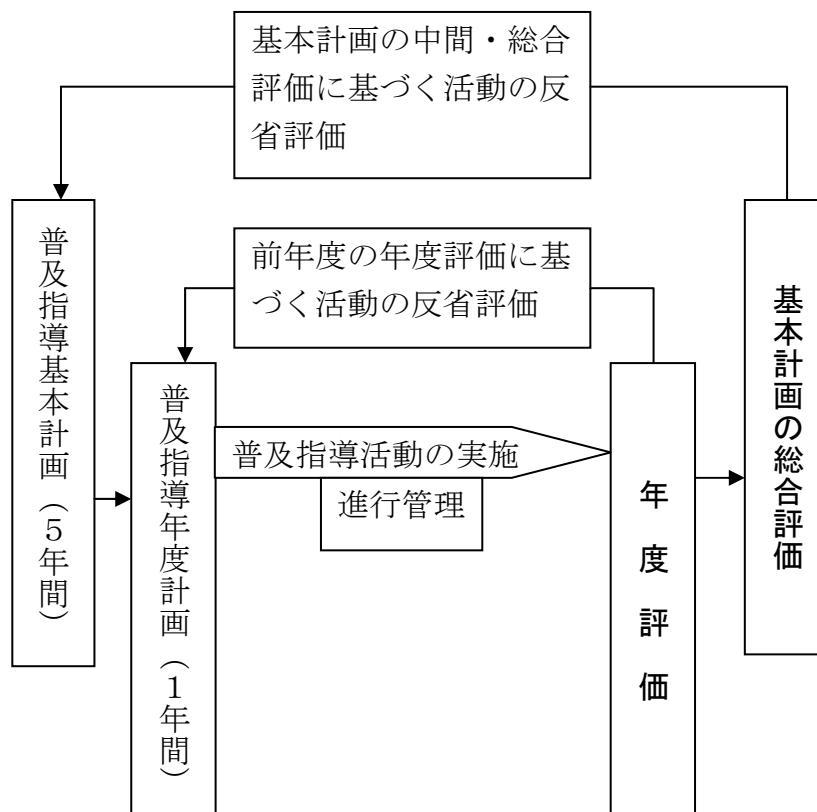
<内部評価>

- 各農業改良普及課は、年度毎に策定する「普及指導年度計画」に定められた活動の経過、成果について、**年度末に評価を実施**（年度評価）。
年度評価の結果を反映し、次年度の「普及指導年度計画」を策定。
- 5か年の「普及指導基本計画」については、中間年度に**中間評価**、最終年度に**総合評価**を実施。

<外部評価>

- 普及事業をより広い視野から適切に評価し、その結果を的確に普及指導活動へ反映していくため、普及事業関係者以外の有識者・消費者等を評価員とする、**普及事業の外部第三者評価**を実施。

○ 内部評価（農業改良普及課内での評価）



○ 外部評価（外部第三者評価員による評価）

4 普及指導活動の内容と成果

- 普及指導活動の課題に対し、平成27年度は77の重点課題を設定（普及事項数384）して活動を実施。
- 基幹経営体の育成、新規就農者の確保、新品種・省力化技術の拡大、GAPの導入推進、耕畜連携の推進等に成果。

○農業改良普及課における普及活動の取組状況（平成27年度）

普及指導活動の課題	重点課題数	普及事項数	延べ担当者数
担い手育成課題	10	60	55
稲・麦・大豆・茶部門課題	8	35	27
野菜部門課題	16	82	51
花き部門課題	13	63	38
果樹部門課題	9	48	26
畜産課題	9	38	26
地域営農課題	10	51	45
交流型農業課題	2	7	7
計	77	384	275

※ 平成27年度 農業改良普及課配置職員定数198名

○主な普及指導活動の内容と成果（平成26年度）

普及課題	普及指導活動の内容	成果
多様な担い手の確保・育成	○ 経営相談、技術指導に関するカウンセリング、コンサルを7910経営体で実施。資金借受者に対するフォローアップ。	基幹経営体4,231
多様な担い手の確保・育成	○ 8か所の農起業支援センターで、個人745件・企業39件に対応。青年就農給付金受給者に対する技術・経営指導。 ○ 地域リーダー農業者の育成	給付金受給者297名 新規就農者193名 経営士31名、青農士34名、 アドバイザー14名 (H26年度末)
産地の収益力向上	○ V溝直播技術導入による稲作経営体の省力・規模拡大推進 ○ 県育成品種等の導入による有利販売の展開	導入面積2,078ha (26年) ゆめのか25ha(26年) なつき愛260万本(26年)
環境保全型農業の推進	○ エコファーマー育成、GAP導入とマネジメントサイクルを活用した生産技術向上 ○ 天敵利用による病虫害防除技術の確立実証	エコファーマー 3,558人 GAP140産地等(26年度末)
活力ある地域づくり	○ 耕畜連携のコーディネートと飼料稲の栽培、利用技術指導の実施	WCS 168ha 飼料稲 1,038ha

○最近の技術・品種の普及成果（主要なものを抜粋）

	内容	普及成果（時点）	備考
県 育 成 の 新 品 種	稲「あいちのかおりSBL」	11,910ha (H26)	農総試調べ
	稲「ゆめまつり」	930ha (H26)	〃
	稲「みねはるか」	50ha (H26)	〃
	酒米「夢山水」	30ha (H26)	〃
	酒米「夢吟香」	11ha (H26)	〃
	小麦「きぬあかり」	1,893ha (H26)	〃
	いちご「ゆめのか」	25.3ha (H26)	〃
	なす「とげなし輝楽」	10.4ha (H26)	〃
	ふき「愛経2号」	40ha (H26)	〃
	じねんじょ「稲武2号」	7.7ha (H26)	〃
	きく「なつき愛」	260万本 (H26)	〃
	カーネーション「ファーストラブ」	8.0万本 (H26)	〃
卵用名古屋コーチン	10.2万羽 (H26)	〃	
生 産 技 術	水稲不耕起V溝直播栽培	2,078ha (H26)	〃
	高能率摘心機による大豆増収技術	100ha (H26)	〃
	袋培地栽培法(トマト、ガーベラ、オハバ、バラ)	18.2ha (H26)	〃
	全方位開放型囲い罫「おりべえ」	22基 (H26)	〃
そ の 他	認定農業者	4,883人(27年3月末日)	農業振興課調べ
	エコファーマー	3,558人(27年3月末日)	農業経営課調べ
	GAP導入産地等	140産地(27年3月末日)	農業経営課調べ
	家族経営協定の締結	1,378戸(27年3月末日)	農業経営課調べ
	女性起業家	120件(26年3月末日)	農業経営課調べ

5 普及指導員の資質向上の取組

- 普及指導員の資質向上は、自己啓発を基本としつつ、OJTを中心とし、OffJITにより補完するよう、計画的な研修及び調査研究により実施。
- 普及指導員の研修は、普及指導活動において、技術指導能力、課題解決能力を十分に発揮し、常に農業者の高度で多様なニーズに応えうる普及指導員を育成することを目標に実施。

1 OffJIT研修

研修名	内 容	研修の例
実践指導力強化研修(初級研修)	普及指導員の役割・目的意識の醸成や基礎的な普及指導方法の習得等実践的な指導能力の向上に関する研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・普及方法集合研修 ・課題解決研修 ・病虫害同定・診断研修 ・経営指導基礎研修
専門指導力強化研修(中級研修)	専門分野及び共通専門分野を中心とした課題解決能力向上に関する研修、マーケティング、経営管理等経営的視点を重視した指導能力の向上に関する研修並びに知的財産の創造、保護及び活用の支援に関する指導能力の向上に関する研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・経営指導高度化研修 ・経営指導力強化研修 ・技術指導高度化研修 ・プレゼンテーション研修 ・課題解決能力向上研修 ・新任養成者研修 ・農政課題解決研修 ・共通専門分野強化研修
総合指導力強化研修(上級前期研修)	地域の総合的な課題に対する課題解決能力の向上を図るための普及指導方法の高度化に関する研修、若手普及職員の指導及び助言に当たる普及指導員の指導能力の向上に関する研修等を実施する。	
企画・運営能力強化研修	普及指導員の養成及び資質向上、普及指導活動の総合的な企画調整・管理運営等に関する研修を実施する。	経営指導推進プロジェクトチーム研修 (他に自治研修所の研修を活用)

2 OJT研修

新任の普及職員の早期育成を図るため、課内で課長、班長、トレーナー又はサポーター及び広域指導室の普及指導員からなる育成チームを組織し、OJTによる指導を実施。

6 農業者への情報提供

- 県内の農業者及び一般県民を対象に、農業の先進技術に関する情報、地域に密着した情報、普及指導活動のPRなどについて情報提供
- 情報提供は、インターネット、印刷物の配布、新聞掲載などの手段を活用。

○情報提供の内容

- 1 インターネットによる情報サイト「愛知県普及情報ネットワーク（ネット農業あいち）」による提供
「技術と経営」、「農業者紹介」、「特産品紹介」、「つくっちゃおう」、「フレッシュマン」、「普及活動紹介」など。
- 2 農業普及だよりによる提供
各農業改良普及課から印刷物として提供。地域農業の実情に即した情報など。
- 3 新聞への情報提供
毎週1回（金曜日）日本農業新聞の愛知ページの専用欄に試験研究成果や地域で実証された技術、行政の取組等の情報を提供。
- 4 記者発表による情報提供
日頃の普及指導活動の状況や成果を報道機関に提供。
- 5 普及指導活動成果事例集の作成
平成24年度～26年度の活動事例を取りまとめ、県Webページに掲載。
- 6 普及指導活動ポスターの掲示
県庁地下通路に掲示。

○実績（平成26年度）

- 1 ネット農業あいち
記事数として年間87件をアップロード
- 2 農業普及だより
各農業改良普及課管内の農業経営士、青年農業士、農村生活アドバイザー等に年3回配布、総発行部数43,530部配布
- 3 日本農業新聞
発行部数約15,000部（愛知県版）、年間47回の掲載
- 4 報道への情報提供
情報提供件数158件（うち新聞等掲載件数86件）
- 5 普及指導活動ポスターの掲示
県庁地下通路に掲示（平成28年1月）